

広報

ただみ

12
2024 月号

No. 655
令和6年12月10日



今月の表紙

【ハロウィンに仮装をする子どもたち】

ハロウィン映画まつりの日に明和公民館に設けられたフォトブースでは、仮装した子どもたちが集まり、ハロウィンのアイテムなどを手に写真を撮るなどし、楽しみました。

《特集》

- 「ぶなのもり こども園」開園 … 2～3
- ネイチャーポジティブ宣言 …… 4～5
- 《News&flash》 …………… 6～7
- 《町の話》 …………… 8～13





のびのびと成長する場所、只見町の子どもたちの未来を育む

「ぶなのもり こども園」

来年4月から

只見町幼保連携型認定こども園

「ぶなのもり こども園」が開園します。

令和7年4月から開園する「只見町認定こども園」の愛称案を募集したところ、20点の応募があり、認定こども園設置に関する専門委員会で選考した結果、「ぶなのもり こども園」に決定しました。

なぜ、認定こども園？

近年、全国的に専業主婦（夫）の家庭が減少し、共働き
の家庭が増え、保育の需要が増えている中、幼児期の教育

も非常に重要視され、教育と保育の一体化が求められています。
従来、幼稚園は教育、保育所は保育と役割が分かれていましたが、その両方の役割を併せ持つ施設として「認定こども園」があります。

認定こども園は、教育的な活動と日常の保育が統合されており、子どもの預かりだけではなく、日常生活の中での道徳的判断や社会的スキルを育むことができます。

「ぶなのもり こども園」に込められた思い

只見町の象徴であるブナと森、そして「もり」には子どもたちを『見守る』と『盛る』の意があります。子どもが増え、こども園も町もどんどん盛り上がっていく願いも込めました。ひらがなで「ぶなのもり」とすることで、子どもに親しみやすくなりました。

考案者 永井知子さん（大倉）



こども園になるけど、 今までの保育所とは何が違う？ 何が変わる？

各保育所・こども園に通う子どもの 年齢及び認定区分

現在			令和7年度から		
	満年齢 (4月1日現在)	認定区分		満年齢 (4月1日現在)	認定区分
只見保育所	1歳	2号認定 3号認定	こども園	1歳	1号認定 2号認定 3号認定
	2歳				
	3歳				
	4歳				
	5歳				
朝日保育所	1歳	2号認定 3号認定	こども園	1歳	1号認定 2号認定 3号認定
	2歳				
	3歳				
	4歳				
	5歳				
明和保育所	1歳	2号認定 3号認定	こども園	1歳	1号認定 2号認定 3号認定
	2歳				
	3歳				
	4歳				
	5歳				

Q どこに開園するの？

A 現在の朝日保育所の施設をこども園に移行します。(住所：黒谷字上野260番地)

「ぶなのもり こども園」は、町内の満3歳以上の子どもが集まります。また、朝日地区で保育を希望する満3歳未満の子どもは、これまで通り保育が受けられます。

なお、只見保育所と明和保育所は満3歳未満の子どもを保育所として継続する予定です。(左表参考)

Q これまで只見保育所、明和保育所に送迎していただくけど、こども園まで送迎しないといけないの？

A 只見・明和地区に居住されている保護者の方には、それぞれの保育所に子どもを送迎していただき、只見保育所、明和保育所からこども園への無料送迎バスを運行します。朝日地区の子どもは、いままで通りこども園に送迎をお願いします。

各区分の認定要件、該当基準等

認定区分	該当基準等	教育・保育日 及び 時間	延長保育
1号認定 (※)	子どもの年齢が満3歳以上 保育に必要な事由(就労、妊娠・出産、病気等)に該当しない	月曜日～金曜日 午前9時～午後3時(教育時間)	午前7時30分～ 午後6時30分の間で可能 (有料)
2号認定	子どもの年齢が満3歳以上 保育に必要な事由(就労、妊娠・出産、病気等)に該当する ※保護者の就労時間により、標準時間または短時間かのいずれかに認定	月曜日～土曜日 (標準時間) 午前7時30分～ 午後6時30分 (短時間) 午前8時30分～ 午後4時30分	午前7時30分～ 午後6時30分の間で可能 (短時間は有料)
3号認定	子どもの年齢が満3歳未満 保育に必要な事由(就労、妊娠・出産、病気等)に該当する ※保護者の就労時間により、標準時間または短時間かのいずれかに認定		

※1号認定は学校教育法の規定により、春、夏、冬休みの長期休業があります。

Q 保育時間等は変わるの？

A 認定区分によって保育時間に違いがありますが、これまでと同じ保育時間となります。

従来との大きな違いは、こども園は1号認定でも通園ができます。(上表参考)

Q こども園は教育時間中しか預かって貰えないの？

A 教育時間終了後は、只見保育所・明和保育所の子どもは、こども園から各保育所に送迎をします。保護者の方のお迎えまで各保育所(こども園)で、これまで同様に保育・延長保育を行います。

Q こども園の利用料は？

A こども園の利用料や給食費は原則無料とします。

Q バスでの通園が不安です

A 今年度、バス通園を行っているこども園に視察研修に伺っており、安全運行のためのマニュアルを作成します。また、バスには置き去り防止の安全装置を設置します。

ユネスコエコパーク登録から10周年

自然と共に歩む只見町

未来に向け決意を新たに

平成26年度に登録された只見ユネスコエコパークは、今年度で10周年を迎え、その記念式典が11月4日に季の郷湯ら里で開催されました。式典に先立ち、映画上映会が行われ、約150人が参加し、プラスチック肥料を使わない環境に優しい只見町の新米が記念品として配布されました。

上映された映画は、民族文化映像研究所が作製した「越後奥三面（えちごおくみおもて）―山に生かされた日々―」で、現在はダム湖底に沈んだ新潟県朝日村奥三面集落の山獺、川獺、採草など山村の日常生活文化を記録したドキュメンタリー映画です。

只見町と同じ豪雪の山村にある暮らしから、豊かな自然と伝統的な生活文化の重要性を再確認しました。

記念式典では、渡部町長が登録から10年間の取り組みに対する支援、協力に対し感謝を述べ、「ユネスコエコパークをまちづくりの根幹として取り組みを加速させるため、引き続き、多くの方々の協力をお願いしたい」と挨拶しました。また、ユネスコエコパーク推進係の中野係長から、野生動物植物の保護監視員制度や伝承産品開発など只見ユネスコエコパークの10年の歩みが報告されました。

最後に、渡部町長は、生物多様性を回復軌道に乗せる国際目標「ネイチャーポジティブ」を宣言しました。この宣言を機に、只見町はネイチャーポジティブの実現を目指すとともに、人と自然が共に豊かに暮らすユネスコエコパークの地域づくりをより力強く進めていきます。



只見町ネイチャーポジティブ宣言

「ブナと生きるまち 雪と暮らすまち」を理念に、この地に受け継がれてきた自然・歴史・文化・暮らし・産業などの地域特性を活かした町づくりを進め、健全な自然環境を次世代に確実に引き継ぐために、2007年に「自然首都・只見」宣言を行ないました。

その宣言に基づく取組み等が評価され、2014年に自然と人が共生する国際モデル地域、「只見ユネスコエコパーク」に登録されました。

以降、只見地域の豊かな自然環境と野生生物を守りながら、この地で育まれた伝統的な生活文化を維持しながら継承する、豊かで持続可能な地域社会の発展を目指す取組みを推進しています。

現在、国際社会では、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を目指す国際目標が掲げられています。

只見町はその動きに参画し、ネイチャーポジティブの実現を目指すことを宣言します。

- 1 「自然首都・只見」宣言に基づき、只見町の豊かな自然の価値を認識し、その恵みを次世代に確実に引き継ぎます。
- 2 人と自然の共生を科学的根拠に基づき実現するために、学術研究やモニタリング、教育や人材育成を推進します。
- 3 自然の恵みを持続可能な形で活かし、社会課題の解決に取り組むため、豊かな山林資源や水資源の活用など再生可能エネルギーの構築に努めます。
- 4 地域資源の活用と自然環境・生物多様性の保護・保全の取組みが一体となったネイチャーポジティブ経済を推進するため、自然資源を活用した生産物の生産や開発、エコツーリズム・グリーンツーリズムを推進します。
- 5 他地域間や企業・団体との連携を促進し、只見町だけでは対処できない課題を解決するため、多種多様な自然生態系を拠り所とした伝統的な生活文化を継承・発展させ、人間と自然とのつながりを大切にす価値観や行動を育む取組みを推進します。

2024年11月4日

只見町長

渡部 勇夫

「ネイチャー ポジティブ」とは？

私たち人間は、自然の様々な恵みによって支えられています。しかし、経済活動による環境破壊などにより、自然が失われています。このままでは、私たちの生活も失われてしまいます。

そこで「2020年を基準として、2030年までに自然が損なわれるようなことを食い止め、回復させ、2050年までに完全な回復を達成し、自然と共生する社会を実現する」という世界的な社会目標が「ネイチャーポジティブ」です。

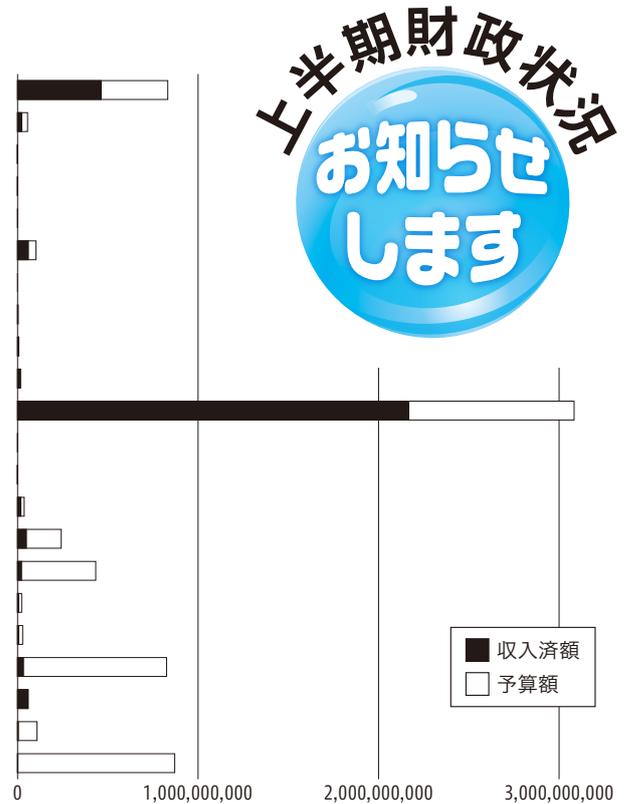
ユネスコエコパーク登録10周年を迎えた只見町もこの考え方に賛同し、「ネイチャーポジティブ宣言」を行い、人と自然が共に豊かに暮らす地域づくりをより力強く進め、ネイチャーポジティブとして掲げる目標の実現を目指していきます。



◆一般会計（歳入）

（単位：円、％）

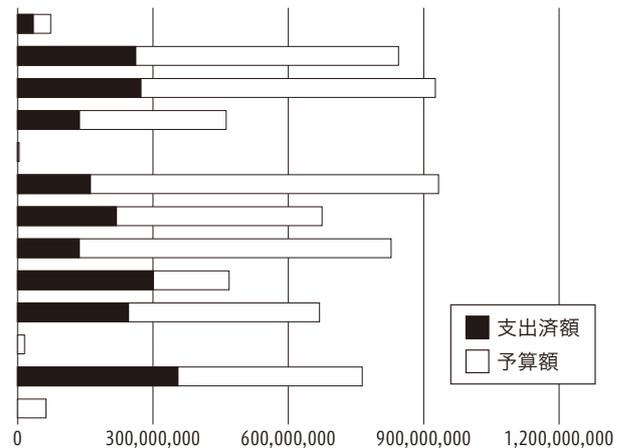
款	款名称	予算額	収入済額	収入率
1	町 税	832,023,000	462,437,956	55.58
2	地方譲与税	55,136,000	23,617,000	42.83
3	利子割交付金	71,000	47,000	66.20
4	配当割交付金	1,000,000	285,000	28.50
5	株式等譲渡所得割交付金	500,000	0	0.00
6	地方消費税交付金	102,000,000	59,969,000	58.79
7	自動車取得税交付金	1,000	0	0.00
8	環境性能割交付金	3,500,000	1,874,000	53.54
9	法人事業税交付金	7,000,000	5,506,000	78.66
10	地方特例交付金	15,867,000	15,867,000	100.00
11	地方交付税	3,083,144,000	2,167,565,000	70.30
12	交通安全対策特別交付金	250,000	0	0.00
13	分担金及び負担金	429,000	170,200	39.67
14	使用料及び手数料	36,654,000	18,293,216	49.91
15	国庫支出金	241,771,000	49,164,496	20.34
16	県支出金	432,872,000	22,214,260	5.13
17	財産収入	22,338,000	5,729,206	25.65
18	寄附金	28,001,000	5,701,863	20.36
19	繰入金	825,541,000	33,000,000	4.00
20	繰越金	58,271,000	58,271,595	100.00
21	諸収入	107,756,000	5,158,910	4.79
22	町債	870,500,000	2,200,000	0.25
	合計	6,724,625,000	2,937,071,702	43.68



◆一般会計（歳出）

（単位：円、％）

款	款名称	予算額	支出済額	支出率
1	議会費	73,367,000	35,060,637	47.79
2	総務費	844,143,000	261,961,290	31.03
3	民生費	925,765,000	273,540,422	29.55
4	衛生費	462,257,000	137,319,709	29.71
5	労働費	3,637,000	1,218,197	33.49
6	農林水産業費	932,858,000	161,579,455	17.32
7	商工費	674,732,000	219,166,211	32.48
8	土木費	827,772,000	136,979,869	16.55
9	消防費	468,800,000	301,204,800	64.25
10	教育費	669,110,000	245,934,065	36.76
11	災害復旧費	15,423,000	0	0.00
12	公債費	763,784,000	355,500,687	46.54
13	予備費	62,977,000	0	0.00
	合計	6,724,625,000	2,129,465,342	31.67



◆特別会計

（単位：円、％）

会計名	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	支出率
1 国民健康保険事業	468,947,000	152,493,216	32.52	146,828,153	31.31
2 国民健康保険施設	465,426,000	63,525,022	13.65	144,168,593	30.98
3 後期高齢者医療	159,000,000	26,248,832	16.51	61,619,821	38.75
4 介護保険事業	791,518,000	342,066,593	43.22	321,475,050	40.62
5 介護老人保健施設	319,000,000	70,155,892	21.99	170,570,597	53.47
6 朝日財産区	15,900,000	15,827,681	99.55	133,570	0.84
合計	2,219,791,000	670,317,236	30.20	844,795,784	38.06

◆公営企業会計

（単位：円、％）

会計名	歳入			歳出		
	予算額	収入済額	収入率	予算額	支出済額	支出率
1 簡易水道(収益的事業)	149,010,000	31,871,696	21.39	149,010,000	24,859,123	16.68
簡易水道(資本的事業)	233,546,000	70,000,000	29.97	268,689,000	97,482,238	36.28
2 集落排水(収益的事業)	183,214,000	39,218,417	21.41	183,214,000	73,031,739	39.86
集落排水(資本的事業)	130,661,000	15,000,000	11.48	143,328,000	47,689,717	33.27
合計	696,431,000	156,090,113	22.41	744,241,000	243,062,817	32.66

町の財政事情がどのような状況にあるのかを理解していただくために、令和6年度上半期（4月1日～9月30日）の予算の執行状況をお知らせします。

歳入の収入済額は9月末までに実際に収入となった金額で、歳出の支出済額は実際に支出した金額です。

これは、只見町財政状況等の公表に関する条例による公表です。

新たな形での開催

「第11回只見町文化祭」開催

「第51回只見町文化祭」は、文化月間及び文化祭期間として、より多くの人に町の文化や芸術に触れてもらう機会を設ける形で実施されました。文化・芸術作品や町内各企業のSDGsの取り組みなどが10月30日から11月4日まで只見公民館で展示された他、11月3日の文化の日には、民話茶屋や茶道体験などが実施され、来場者は只見町の文化・芸術に触れました。



▲展示物に足を止める来場者



▲お茶を楽しむ来場者

マシンガンズ滝沢氏とゴミについて考える

「ゴミ事情やゴミの削減について」

文化講演会「ゴミ事情やゴミの削減について」が11月3日に只見公民館で開かれ、お笑いコンビ・マシンガンズの滝沢秀一氏が講演しました。お笑い芸人とゴミ清掃員の二足の草鞋を履く滝沢氏は「ゴミ問題を考えるにあたり、3Rの一つReduce（※リスペクト）を足すことを大事にしています。ゴミを出した先にどういう人が関わっているかを想像し、思いやるのが大切です。また、ゴミはどこからゴミになるのかを考えてください。人がゴミと思つた瞬間にゴミになります」と話し、ゴミとする前にゴミを減らす意識をすることの大切さを伝えました。
※リスペクト・尊敬



▲「もっとゴミを減らそう」と話す滝沢氏

冬の生活を守る

除雪会議・除雪機械始動式

除雪会議が、11月7日に開かれ、除雪路線の確認などが行われました。また、会議終了後には、今期の除雪業務の安全祈願と除雪機械の始動式が行われました。除雪機械の始動式では、除雪ドーザーとロータリー除雪車が並べられ、職員の手導で始動を行いました。除雪作業は、安全な道路確保をするための大切な作業です。ご理解、ご協力をお願いいたします。



▲安全祈願をする除雪作業に携わる皆さん

只見町長選挙

渡部勇夫氏に当選証書

任期満了に伴い11月19日に告示された只見町長選挙は、渡部勇夫氏（68）が無投票で2回目の当選となりました。当選証書付与式は24日に町役場町下庁舎で行われ、町選挙管理委員会の舟木委員長から、「只見町のリーダーとして、只見町のさまざまな課題解決のために、健康に気を付けて町政に臨んでください」との言葉と共に証書が手渡されました。なお、任期は、令和6年12月16日から4年間です。



▲当選証書を受け取る渡部氏



▲素晴らしい成績を収め続ける只見剣道スポーツ少年団

只見剣道スポーツ少年団 団体優勝など大活躍

第8回河井継之助杯只見剣道大会は10月14日に行われ、団体中学生の部で只見剣道スポーツ少年団Aチームが優勝する等しました。

また、10月27日に行われた第54回全会津少年剣道大会では、団体4年生以下の部で只見剣道スポーツ少年団が優勝しました。

11月10日には、第31回金山町妖精の里剣道大会が行われ、団体4年生以下の部で只見剣道スポーツ少年団が優勝を飾りました。

なお、各大会の成績(優勝のみ)は以下の通りです。

河井継之助杯	シモン旗・ロータリー旗争奪 全会津少年剣道大会	金山町妖精の里剣道大会
○個人 小学4年生以下 男子 鈴木楓真 中学生 男子 矢沢博哉	○個人 男子3・4年生の部 齋藤光希 女子5・6年生の部 本名美里	○個人 4年生以下の部 鈴木楓真
○団体 中学生 男女混合 只見剣道スポーツ少年団A (矢沢博哉、五十嵐千紘、齋藤充希)	○団体 男女混合4年生以下の部 只見剣道スポーツ少年団A (飯塚雄飛、齋藤光希、鈴木楓真)	○団体 4年生以下の部 只見剣道スポーツ少年団 (飯塚雄飛、齋藤光希、鈴木楓真)

只見町グラウンドゴルフ協会長杯・朝日地区地域づくり委員会長杯 グラウンドゴルフ大会 開催

「第25回只見町グラウンドゴルフ協会長杯大会」は10月16日に町下グラウンドで開催されました。

また、「第8回朝日地区地域づくり委員会長杯」は10月22日に開催されました。

両日とも肌寒い天候の中ではあったものの、参加者は日ごろの練習の成果を十分に発揮しました。



▲朝日地区地域づくり委員会長杯に参加した皆さん



▲町下グラウンドで行われた協会長杯

ふくしま駅伝2024 只見町チーム 激走!



▲大会前に結団式で士気を高めた選手たち

「第36回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会(ふくしま駅伝)」が11月17日に開催され、只見町チームが全16区間96.3kmを駆け抜けました。

7日に行われた団結式で、選手の三瓶叶翔さんが「選手一丸となって、1本のタスキをつなぎ、前回よりも1秒でも早く、力いっぱい走り抜きます」と決意表明をしました。

只見町チームは、総合順位45位、町の部順位は23位、タイムは6時間14分22秒で、昨年よりも順位を上げ、タイムは約15分も縮めました。また敢闘賞に選ばれました。

郷土料理の伝統を守り続ける 全国食生活改善大会、 全国食生活改善推進員協議大会 開催

全国食生活改善大会と第54回全国食生活改善推進員協議大会が10月22日に、郡山市のビッグパレットふくしまで開催されました。本県では初開催となります。

当大会では、全国の食生活改善推進員や関係者など約900人が参加し、食生活の改善や郷土料理の継承に向け決意を新たにしました。

また、高円宮妃久子さまもご出席され、「世界に誇るこの財産が、生きた文化として次世代に受け継がれていくよう引き続き努力していただきたい」とご挨拶をされました。



▲大会に参加した町食生活改善推進員のみなさん

身近な人権について学ぶ 朝日小「人権教室」開催



▲いじめについて真剣に考える児童と人権擁護委員

朝日小学校3年生と4年生を対象に「人権教室」が、10月28日に行われ、只見町人権擁護委員の角田行雄さん、渡部早苗さん、渡部仁一さんが講師を務めました。

児童は「いじめ」に関する動画を視聴し、無視することや悪口をいうことなどの「いじめ」が人権を侵害することを学び、また、いじめを無くすためにはどのようにしたら良いかを考えました。児童からは「いじめられている子の気持ちを考える」、「勇気を持っていじめを止める」といった意見が出されました。

人権擁護委員の皆さんは「いじめに立ち向かう勇気と思いやりの気持ちを持って生活してください」と児童に呼びかけました。

ただみ・モノとくらしのミュージアム 入館者1万人達成！

「ただみ・モノとくらしのミュージアム」の累計入館者が9月28日に1万人を達成しました。

1万人目の入館者となったのは、生方忠雄さん、則子さん(塙町)で、ご夫婦での来場でした。

生方さんには、記念品として、只見町の伝統工芸品である編み細工のバッグと企画展図録が贈呈されました。

当ミュージアムは令和4年7月22日に開館後、昨年8月には累計入館者5,000人を達成しています。



▲ご来場いただきありがとうございました

只見町の秋の実りを楽しむ 「米フェス&JAまつり」 開催

只見米ブランド協議会主催で「第4回只見米フェス」が10月26日に只見線広場で開催されました。また、同会場で「只見地区JAまつり」が同時開催されました。

オープニングでは、只見米ブランド協議会の山内征久会長の開会宣言に続き、もちまきが行われ、開会をお祝いました。

会場では、「只見米」の食べ比べや只見高校生による「米粉マフィン」の試食会、ただみ農家の嫁俱樂部によるもちの振る舞いの他、JA会津よつば只見女性部や農青連による出店も並び、来場者は、秋の味覚に舌鼓を打ちました。



▲ステージイベントの他、もちつきも行われました

紅葉の只見町を楽しむ 「只見町ウォーク」 開催



▲「いってきます」とカメラに手を振る参加者

福島県認定の「歩こうふくしま59」コースを歩く「只見町ウォーク」が10月26日に開催され、約200人が参加しました。

コースは、JR只見駅を始点に、ただみの森キャンプ場やブナセンターをチェックポイントとして回る5kmコースと、J-POWER只見展示館まで回る7kmコースが設けられ、参加者らは、只見川沿いに色づいた紅葉を満喫し、ゴール後は米フェス会場で只見町の秋の特産品を堪能しました。

当時の感動と記録を刻む 甲子園出場記念碑除幕式 開催

只見高校野球部の第94回選抜高等学校野球大会(センバツ)出場の記念碑が町下野球場のベンチ脇に建立され、その除幕式が6日に行われました。

只見高校は21世紀枠で出場し、強豪大垣日大を相手に会津地方の学校として初となる得点を挙げるなどした他、ハツラツとしたプレーで甲子園を沸かせ、多くの人の心に残る試合をしました。

野球部の現主将・印南奏詩さん(2年)は「先輩たち一人一人が輝いてプレーしていたのを思い出します。記念碑は甲子園に立つというモチベーションになります。夏の甲子園出場を目指します」と決意を話しました。



▲記念碑そばで校歌を斉唱する現野球部員

友達と家族とハロウィンを満喫

「ハロウィン映画まつり」開催

中央公民館主催の「ハロウィン映画まつり」が明和公民館で11月2日に開催され、親子約60人が参加しました。

今回上映された映画「FLY! / フライ!」は、渡り鳥なのに一度も移動したことがないカモの家族が大冒険する物語で、旅の中で成長していく姿を描いたアニメーション作品です。

参加者には、さんべ農園からお米で作ったポン菓子を提供され、優しい甘さが大好評でした。座席も指定は無く、持ち寄った座布団などを置いて座る自由席制で、友達同士で並んで楽しく鑑賞する子どもたちの姿も見られました。



▲映画館とは違った雰囲気の中で映画を楽しみました

芸能発表やマジックショーに会場が湧きました

文化協会創立30周年記念イベント 開催

只見町文化協会主催の「只見町文化協会創立30周年記念イベント」が11月10日に季の郷湯ら里で開かれました。

第1部は芸能発表会が行われ、文化協会加盟団体による舞やコーラス、演奏などが披露されました。

第2部はマジシャンとして活躍している空先拓海さんそらさきたくみによる「感動トーク&魅惑のマジックショー」が行われました。

トークの中で空先さんはマジシャンを目指したきっかけを話しました。空先さんは、過酷な家庭環境で育ちましたが、がんで入院した親友を元気づけようと手品を猛練習され、お見舞いの度に披露しました。後に奇跡的にがんを克服したその親友に、空先さんの励ましが支えになったと言われ、マジシャンを目指したそうです。マジシャンとして駆け出しのころに東日本大震災が発生、空先さんもボランティアに参加し、その時目にした「諦めずに協力して苦難を乗り越えようとする人たちの姿」に勇気をもらい、マジックで東北から元気を届けたいと決心し、岡山県から福島県に移住しました。現在、県内の学校、保育所でも公演をされています。

今回の公演でもマジックで只見町の人に元気を届けてくれました。



▲第1部では約20演目が披露されました



▲第2部で会場を盛り上げた空先さん

共に刻んだ、50年の絆

「しあわせ金婚夫婦表彰式」開催

只見町老人クラブ連合会主催の「しあわせ金婚夫婦表彰式」が11月8日に季の郷湯ら里で開かれ、金婚を迎えられた町内のご夫婦13組のうち8組が出席しました。

表彰式では参加した各組に表彰状の伝達や記念品の贈呈が行われました。その後、大東一仁さん・みえさんご夫婦が、受賞者を代表し謝辞を述べました。大東さんは「いつもそばにいてくれた存在は大きい。2人共々健康に豊かに過ごし、また、微力ながら町の振興に協力してまいります」と話しました。



▲これからも夫婦仲良く幸せにお過ごしください

響きあう音、育む心

「只見町小中学校音楽祭」開催



▲「水平線」を披露した朝日小児童

第61回只見町小中学校音楽祭が11月7日に只見中学校で開催され、町内3小学校の3、4年生、只見中学校3年生が参加しました。

音楽祭では、只見小が「春の小川」・「たなばたさま」など4曲の合奏と「小さな世界」の合唱、朝日小が「水平線」の合唱と校歌の合奏、明和小が「オーラ・リー」の合奏と「マイバラード」の合唱、只見中が「友～旅立ちの時～」の合唱をそれぞれ披露しました。

最後には、「ビリーブ」を全体合唱し、会場全体に素敵な歌声が響き渡りました。

只見町から未来へ、持続可能な社会のために

「東北ESD／SDGsフォーラム」開催

只見町におけるユネスコエコパークや伝統文化等の地域資源を生かした持続可能な地域づくりのためにESDやSDGsの取り組み事例などを発信し、ESDの重要性を高めることを目的とした「東北ESD／SDGsフォーラム2024 in 福島只見」が11月15日に只見町内において開催されました。

フォーラムでは、福島テレビのお天気キャスターを務める斎藤恭紀^{やすのり}さんの基調講演から始まり、渡部町長、会津工場取締役統括本部長の鈴木誠さん、さんべ農園の三瓶清志さん、目黒中央公民館長、ちよの会代表の渡部ヨリ子さんらが、所属する企業や団体のSDGsなどへの取り組み紹介を行いました。



▲会津工場のHプロセス工法がCO₂の削減や素材を無駄なく使えることなどSDGs視点から工法の解説を行った鈴木さん

音楽が繋ぐ 只見線の未来

J R 只見線応援チャリティーショー 開催

夢広場主催の「第12回 只見線応援 歌と踊りのチャリティーショー」が11月17日に季の郷湯ら里で開催されました。

第1部では友情出演による歌や踊り、第2部では歌手によるステージショーが行われました。

また、会場には募金箱が設けられ、J R 只見線の振興を目的とした募金活動が行われました。



▲歌で只見線を盛り上げる出演者

秋晴れの中、かつての薪炭林を歩く

ブナセンター自然観察会開催



▲ブナの実を探す参加者

ブナセンター主催の『ただみ観察の森「梁取のブナ林」観察会』が11月9日に梁取の観察の森で開催されました。

梁取の観察の森は、かつての薪炭林から再生した美しいブナの二次林で、集落の協力の下、観察の森として整備されました。

観察会では、林の中を散策して落葉を集めたり、ブナの種子の豊凶の仕組みや暗い林床で日光が差し込むのを待っているオオカメノキの生態などの解説が行われました。

また、森林環境税で製作された標柱を建てる整備体験を行いました。

参加者らは気持ちの良い秋晴れの下、紅葉を楽しみながらの観察会となりました。

世界に一つのオリジナルハンカチを作る

ブナセンター友の会「ブナの葉染め体験会」実施

只見町ブナセンター友の会主催の「ブナの葉染め体験会」が11月16日にただみ・ブナと川のミュージアムで開かれ、約30人が参加しました。

「自然首都・只見」伝承製品のブナの葉染めを製造している「ぶないろくらぶ」を講師に、参加者はブナの葉から作られた染液を使って、ハンカチを染め上げました。

体験は、和やかな雰囲気の中行われ、参加者全員が思い思いの模様をつけ、世界に一つしかないオリジナルの素敵なブナ染めのハンカチが完成しました。



▲完成した作品と共に記念撮影をした参加者

『芍薬の里・只見町』一般公開セミナー 生薬と花の町への挑戦と未来へ只見の森が育む自然の豊かな恵みへ』開催



有限責任事業組合クラウドゥ只見が主催する『芍薬の里・只見町』一般公開セミナー「生薬と花の町への挑戦と未来へ只見の森が育む自然の恵みへ」は、11月9日に只見公民館で開かれ、町内外から約1000人が来場し、熱心に聴講しました。

セミナーは「薬の地産地消」を掲げる福島県立医科大学会津医療センター漢方内科の三瀧忠道みつただちみち特任教授が司会を務めました。はじめに港屋漢方堂薬局（伊達市）の貝津好孝氏が「薬草でいっぱい宝の森」と題して、只見町に生育する代表的な薬草を紹介しました。

次いでクラウドゥ只見代表の高原豊氏が「『芍薬の里・只見町』を目指して」として、薬用芍薬の栽培を始めた経過や実際の苗の植え付けから出荷までの様子やボランティア募集事業、

花を使ったお茶などの製品開発と販売をしていることなどを紹介し、町づくりにつなげて行きたいと抱負を述べました。

製薬会社（株）栃本天海堂の佐藤公紀氏は、只見で栽培された芍薬の根が「只見産」と明記した生薬「シヤクヤク」として会津医療センターへ納められるまでの加工過程や、国産シヤクヤクは2%しかないことなどを紹介しました。

会津医療センター漢方医学講座の田原英一教授は、「漢方で余裕シヤクヤク、ライフト」と題して、シヤクヤクが使われている漢方薬をその効能別に説明し、広く使われ、また、さまざまな効能があることを詳しく分かりやすく話しました。長野県の北アルプスの麓で林業に携わりながら森林資源を生かす活動をしている安曇野森林（もり）づく

り企画代表の山口真保まほろ氏は、生薬のオウバク生産の復活や国内初のコウホネの栽培を手がけたこと、イタヤカエデでメイプルシロップなどの生産に取り組んでいる、事業継続のポイントのほか、何かを始めるのに年齢は関係ないと強調されました。

最後は、千葉大学の池上文雄名誉教授（生薬学）の総評で終了しました。

会場内には、掘上げた薬用芍薬の根の実物や生薬「シヤクヤク」、芍薬の花び



▲展示された芍薬の根

らを使ったお茶やジャム、ゼリー、味噌などの製品も展示されていました。

セミナーの様子がクラウドゥ只見の活動は、新聞やテレビでも報道され、只見町外においても関心の高いことがうかがえました。

有限責任事業組合クラウドゥ只見では、薬用芍薬の栽培収穫ボランティア募集（今シーズン終了）や、まずは100株から、町内で薬用芍薬の栽培を試しに始めてみる「100株栽培」の栽培者を募集しています。興味がありましたらお問い合わせください。

クラウドゥ只見
FAX: 021-3242
メール: kaudhu@gmail.com
担当: 渡部・高原

地域おこし協力隊として Vol.116

世界の生物圏保存地域（ユネスコエコパーク）

只見ユネスコエコパーク推進協力隊 こんどう ゆうた
近藤 友太



2024年11月現在、世界の生物圏保存地域は延べ134ヶ国・759か所となっています。2024年には韓国やスペインなどで新たに11か所が登録されました。

韓国の新規登録地「昌寧生物圏保護区」は新潟県の佐渡島と同様、絶滅の危機に瀕したトキの個体数回復に重要な役割を担っている地域となっています。その保護管理の中心となっている牛浦沼は非常に多くの絶滅危惧種や希少種の生息地で、ラムサール条約湿地にも指定されています。自然資源を活用したエコツーリズムが盛んで年間80万人が訪れる観光地となっている一方、自然環境の保全と地域住民の意識との間にギャップもあるようで、その両立に向けた取り組みの推進が期待されています。

生物圏保存地域に登録されている全759か所の総面積はオーストラリアほどの大きさになるそうです。もちろん登録された地域内でも多くの環境・経済の問題を抱えていますが、自然生態系の保全と社会経済の発展が両立された社会の実現を目指すうえで生物圏保存地域の取り組みは国際的に重要なものとなっています。同様に、2030年までに生物多様性の損失を止め、反転させ、回復軌道に乗せる「ネイチャーポジティブ」を目指す国際目標の達成にも大きな役割を持っています。

只見町もユネスコエコパーク登録から10年を迎えた今年、「只見町ネイチャーポジティブ宣言」を宣言しました。只見町の豊かな自然環境、脈々と受け継がれてきた自然資源の持続的な利活用、積み上げられた研究・調査、次世代を担う子どもたちへのESD教育、これらが一体となり自然生態系の保全と社会経済の発展の両立が図られるよう、取り組みを推進していければと思います。

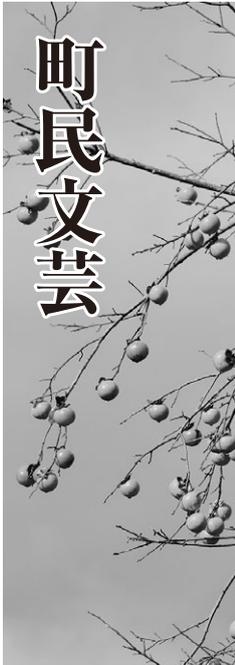
今月のことば解説

「ハロウィン」(表紙、P11「ハロウィン映画まつり」開催)

秋になるとテレビのCMやニュースなどで、目にしたり、耳にしたりする機会が増えた「ハロウィン」ですが、元々は海外のお祭りで、一説によるとその起源は、2000年以上昔の古代アイルランドとも言われています。ハロウィンでお化けなどの仮装をするのは、10月31日は、霊が家に戻ってくる日（日本におけるお盆のような日）とされ、霊と一緒についてきてしまった悪霊や悪魔から、子どもたちが気付かれないようにするために悪霊の仮装をしていたという説があります。現代では、国により様々な発展をしており、アメリカでは民間行事として親しまれ、家を装飾したり、パーティーをしたり仮装をしたりして楽しんでいるそうです。

日本では、アメリカから伝わった楽しみ方が影響をうけているとされており、仮装を楽しむイベントのイメージが強く、悪霊だけでなく、アニメや漫画のキャラクターに扮して楽しんでいる方が多く見られます。





町民文芸

只見短歌会 令和六年十一月詠草

朝露の少なき庭の花々に水を補ふひとひ一日始まる

目黒 富子

晩秋の風にそよぎし軒下の一株やさしコスモスの花
関谷登美子

立花 奏音

二歳児が口づさむのは懐かしの童謡よりも令和ソングス

新国由紀子

豆を挽き淹れたてコーヒー啜りをりひと時忘るる忙せはしき日々を

渡部ヨリ子

頬つたひ流るる汗が地に落ちて雨かと空を見上ぐ畑中はたなか

只見俳句会 十一月定例会

日高俊平太 指導

新米を新米と言ひ頬張りて

修 一

遠山の小さく見ゆる柿紅葉

柿もぐや歳を忘れて脚立から

一 恵

畑草を夢中に引くや虹の端

信

不条理の政治はともかく秋うらら

睦 子

不器用も高倉健なり冬紅葉

秋晴れにくるい咲かな月見草
盆の月イベント遠く去りにけり

都

恒 夫

新札をサイフの奥に秋の昼

秋雲や動くことなし動き有り

裏山に祖父の愛でしか青木の實
銀杏枯る百姓俳人移山子えざんしよ

味代子

予定事少しちがつて去年今年こぞことし

尺八や夫のスースーすきま風

今月のお知らせ

電話番号

総務企画課	財政係	☎82-5210
総務係	企画係	
町民生活課	町民税務係	☎82-5110
	生活安全係	☎82-5100
保健福祉課	保健係	☎84-7005
	福祉係	
	成年後見制度利用促進室	☎84-7010
農林建設課	農林係	☎82-5230
	建設係	☎82-5270
	薪工エネルギー推進室	☎82-5230
交流推進課	観光係	☎82-5240
	商工労働係	
移住交流係	ユネスコエコパーク推進係	☎82-5963
	(ただみ・ブナと川のミュージアム内)	
会計室		☎82-5120
議会事務局		☎82-5300
農業委員会		☎82-5230
教育委員会		☎82-5320
学校給食センター		☎84-7180
只見保育所		☎82-2219
朝日保育所		☎84-2038
明和保育所		☎86-2249
朝日診療所		☎84-2221
(歯科)		☎84-2612
こぶし苑		☎84-2101
只見公民館		☎82-2141
朝日公民館		☎84-2111
明和公民館		☎86-2111

税 今月の納期

12月25日までに納めましょう

- 国民健康保険税(6期)
- 水道使用料(3期)
- 農集排使用料(12月分)
- 介護保険料(6期)
- 後期高齢者保険料(5期)

お知らせ

令和7年度認定こども園及び保育所の入園(入所)児童の募集

令和7年度の認定こども園及び保育所の入園(入所)児童を次のとおり募集します。

【対象児童】

令和7年4月1日現在
満1歳以上の児童

【募集施設】

- ・只見町認定こども園
- ・只見保育所
- ・明和保育所

【申込受付期間】

令和6年12月2日(月)
～12月26日(木)

【受付場所】

- ・只見保育所
- ・朝日保育所

- ・明和保育所
- ・教育委員会
- ・町民生活課
- ・朝日公民館
- ・明和公民館

【申込書類】

申込書類は、各受付場所に設置してあります。現在入所中の方は保育所より配付されます。

【その他】

- ・令和7年度中に満1歳になる児童で、年度途中からの入所を希望する場合も、お申し込みください。なお、出産前でも申込み可能です。
- ・入園、入所の承諾については、選考基準による審査があり、審査結果については2月中旬までに通知いたします。

【問合せ先】

教育委員会 子ども未来係
☎0241-8215320

令和7年度奨学金

「口見町みらいの人財育成奨学金」奨学生募集

【奨学資金の対象】

令和7年度に高等学校、短期大学、大学又は専門学校などの進学希望者

【奨学資金貸与の条件】

- ・只見町内に3年以上住所を有し、只見町立中学校卒業
- ・貸与申請時に必要となる連帯保証人、生計維持者が只見町内に住所を有すること

【利用可能額(貸与額)】

- ・高等学校/月額1万2千円以内

- ・4年制大学、短期大学、専門学校等/月額4万円以内
- ※支度金(高等学校を除く)入学時のみ/30万円以内

【奨学資金の返還】

卒業または奨学資金の利用をやめた月から30歳に到達する月までの期間を据え置き期間とし、その後10年以内で返還することになります。

【返還免除】

据え置き期間内もしくは終了後に只見町に戻ってきた場合、申請により年度ごとの返還金を免除することができます。(ただし、高等学校は対象外)なお、免除の年間上限額は22万2000円となります。詳細についてはお問合せください。

【申込方法】

申請書類等は只見町役場駅前庁舎窓口、教育委員会、朝

【採用通知】

審査決定後、本人に通知します。

【問合せ先】

教育委員会 子ども未来係
☎0241-8215320





広報ただみ町長室

只見町長 渡部 勇夫

◆「第36回市町村対抗福島県縦断駅伝大会」に只見町は只見町単独チームとして参加し、その結果報告を目黒監督と選手代表の矢沢さんにしていただきました。

成績は全体で45位、昨年よりもコースが少し長かったにも関わらず合計タイムを約15分短縮し、見事完走を果たしました。

その結果をたたえられ町の部の「敢闘賞」を受賞しました。

これは本当に素晴らしいことであり、誠におめでとうございます。

只見町チームは中学生を中心とした若いチームですが、全16区間中個人順位では30位台が4名と伸び盛りのチームです。

9月の上旬から練習を始め、11月中旬の本番まで、約2か月間仕事や学業等に励みながらの練習は、時間の確保や様々な調整など大変だったことと思います。

この間、頑張ってもらえた選手の皆様や監督、コーチはじめ、体調管理などを支えてこられたご家族や町スポーツ協会の役員、すべての関係者の皆様、そして応援していただいた町民の皆様、に心から感謝申し上げます。



町長スケジュール〈11月分〉



- | | | | |
|-----|---|--------|---|
| 1日 | 辞令交付式、魚沼市制施行20周年記念式典（新潟県魚沼市） | 14日 | 会津総合開発協議会役員会（会津若松市）、東北ESD/SDGsフォーラム参加者交流会 |
| 2日 | ふるさと大使懇親会 | 15日 | 東北ESD/SDGsフォーラム2024 |
| 4日 | 只見ユネスコエコパーク登録10周年記念事業映画上映会・記念式典 | 16日 | 南会津地方広域市町村圏組合消防本部発足50周年記念祝賀会（南会津町） |
| 5日 | 映画監督田中幸征氏来庁 | 17日 | 只見線応援歌と踊りのチャリティーショー |
| 6日 | 柳津町長訪問（柳津町）、本名正二氏来庁、只見高校甲子園出場記念の碑除幕式 | 22日 | 只見町むかし話の会福島県教育・文化関係表彰受賞報告来庁 |
| 7日 | 除雪会議、除雪機械始動式、元郡山国道事務所長来庁、ふくしま駅伝只見町選手結団式 | 25日 | 福島県町村会役員会（福島市） |
| 8日 | しあわせ金婚夫婦表彰式 | 26日 | 安心・安全の道づくりを求める全国大会及び要望活動（東京都） |
| 10日 | 只見町文化協会芸能発表会 | 27～28日 | 南会津地方環境衛生組合議会行政視察研修（茨城県～神奈川県） |
| 11日 | 只見町議会11月会議 | 29日 | 南会津建設事務所長来庁、(株)東邦銀行常務来庁、JR東日本東北本部長来庁、三條新聞社来庁、政策調整会議 |
| 12日 | 治水事業促進全国大会及び要望活動（東京都） | | |

町民の消息

(10月26日～11月25日届出分)敬称略

■お誕生おめでとうございます

鈴木 楓真 (男/直・裕美) 黒谷

■おくやみ申し上げます

齋藤 澄江	82歳	大倉
山内 ミチ子	93歳	梁取
酒井 智生	80歳	福井
五十嵐 ノブエ	88歳	塩ノ岐
吉津 幸子	97歳	只見
佐藤 トモヨ	99歳	大倉
菅家 アキ子	86歳	黒谷
滝沢 千秋	88歳	蒲生
酒井 久	87歳	長浜
堀金 作雄	89歳	福井

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

人のうごき

令和6年11月1日現在

人	口	3,553 (-15)
	男	1,761 (-7)
	女	1,792 (-8)
世帯数		1,522 (-9)
高齢化率		48.6%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 3 転出 6 出生 0 死亡 12

あとがき

▽気が付けばあつという間に12月になっていました。今シーズンの降雪は、平年並みから多いくらいと予報が出ているようです。雪が降ると億劫になるのが雪かき(除雪)ですが、スポーツ化をして楽しんでやっています。学校や団体があるそうです。除雪量を競うだけでなく、センサー等を用いて、仕事量や消費カロリーを算出して、競い合うといった方式だそうです。雪かきの消費カロリーが分かると、少しやりがいが出て来そうです。皆▽今年もお世話になりました。皆様、良いお年をお迎えください。(小林)

1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう

1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう

1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう

1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう

1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

町民憲章



朝日公民館 図書紹介

朝日公民館図書室 ☎84-2111

おすすめ新着図書

☆会津人が書いた 只見線各駅物語



【著】鈴木 信幸 (言視社)
世界中が注目する福島・新潟のローカル線
大好評『星賢孝 只見線写真集 新・四季彩々』の姉妹編!

圧倒的な自然、消えゆく山間部の暮らし、民間部の暮らし、民芸品、農産物等の特産品と豊富な観光資源…。福島県・会津若松から新潟県・小出まで只見線38駅(2つの廃駅含む)には、それぞれに秘められた物語がある。会津出身者ならではの視点で、そのひとつひとつを掘り起こす。

☆無印良品と365日



【著】本多 さおり (大和書房)
あなたの暮らしが、「好き」であふれていますように。高校生で無印良品に出会って以来、愛がとまらず、そのオタクっぷりがほとぼる推し活の一冊。

- 1 朝活はじめました
- 2 無印良品の名品12選
- 3 在宅ワーク

- 4 ござっぱり家事
- 5 ただいまペロテ中! 無印良品で買う消耗品
- 6 子どもと無印良品
- 7 リラックス
- 8 地味だけどいい仕事
- 9 休日を楽しむ
- 10 家族にやさしい収納

○朝日公民館ではリクエストを随時受付しています。読んでみたい本があれば、ぜひリクエストしてください。

かわら
町内の河原にいる珍しいテントウムシ

(写真・文 太田祥作)

アイヌテントウ

(学名：Coccinella ainu)

ココノホシテントウ

(学名：Coccinella explanata)

【コウチュウ目テントウムシ科】



▲ アイヌテントウの交尾
(大倉地区の伊南川にて撮影)

▲ ココノホシテントウ (叶津川にて撮影)

只見町内の河原は珍しい生き物の宝庫です。ユビソヤナギはその代表ですが、他にもヒゲナガヒナバッタやカワラバッタ、アイヌハンミョウなど、自然度の高い河原を好む種が見られます。今回は、河原のテントウムシを取り上げます。

アイヌテントウとココノホシテントウは、どちらも赤い鞘翅に黒い斑点が特徴のテントウムシです。身近なナナホシテントウとよく間違えられるのですが、斑点(星)の数で見分けることができ、これら3種の識別点は次のようになっています。

〈ナナホシテントウ：7星/アイヌテントウ：11星/ココノホシテントウ：9星〉

また、これら3種の中ではアイヌが最も小型で、中間がココノホシ、大型がナナホシとなっています。和名は、アイヌは北海道のアイヌ、ココノホシは星の数に由来します。ナナホシがどこにでも見られる普通種であるのに対して、アイヌとココノホシは河原や海岸を好み、町内では伊南川本流や黒谷川、叶津川など、大小の石がごろごろした河原に限って生息しています。アブラムシ類を餌とし、生息地ではよくカワラヨモギについています。また、アイヌの場合一カ所あたりの個体数が多く、集団化する傾向にあるようです。

全国的には、アイヌ・ココノホシともに局地的な分布を示す希少種です。これらのテントウムシの存在は、只見の河原環境が良好であることを指標するものと言えるでしょう。

只見町ブナセンターからのお知らせ

下記イベントを開催しております。詳細は只見町ブナセンター(電話0241-72-8355)までお問い合わせください。

企画展「ブナ林の木に生かされる 雪国のブナを極めるⅡ」

会期：2024年11月9日(土)～2025年6月30日(月)

場所：ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー